

## 第5回柏崎市総合計画審議会・柏崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会概要

- 1 日 時 平成27年10月20日(火) 午後3時30分から午後5時まで
- 2 場 所 柏崎市役所4階大会議室
- 3 出席者
  - (1) 委 員 17名(欠席:3名)
  - (2) 庁 内 市長、副市長、教育長、総合企画部長、財務部長、危機管理監、市民生活部長、福祉保健部長、産業振興部長、都市整備部長、会計管理者、ガス水道局長、消防長、教育部長、議会事務局長
  - (3) 事務局(企画政策課) 課長、主幹、企画係長、政策係長、企画係員2名、政策係員1名、受託事業者

### 4 概 要

#### 【報告事項】

##### (1) 委員の交代について

事務局より、辞任に伴う委員の補充について報告を行った。

#### 【議題】

事務局から次の事項について資料に基づき説明を行い、その後、委員による質疑・意見が行われた。

##### (1) 柏崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略案について

#### 発言者

#### 発 言 概 要

##### <策定までの今後の進め方について>

会 長： 現在、パブリックコメントを実施しており、本日の意見やパブリックコメントを反映した最終版は、会長、副会長並びに事務局に一任いただくということでよろしいか。⇒異論なし。

##### <総合戦略の目標について(P22)>

委 員： 「子どもから高齢者までの、それぞれの年代やライフステージに合わせた役割を果たしながら力を合わせて」という表現にすると更に良いのではないか。

委 員： 若い世代が内向きに柏崎に対して愛着や誇りを持つのではなく、客観的な視点で柏崎の良さを捉えられるようになることが大切である。

委 員： 子どもたちが柏崎を一度離れたとしても、柏崎に誇りや愛着を感じ続けられるような取組ができると良い。

##### <目標別の総合戦略について：地域産業の振興を図り雇用の場をつくる(P24~25)>

委 員： 雇用のミスマッチの解消として、市外にいる地元出身の学生に対するPR活動にも力を入れていただきたい。学生は就職活動をするに当たって、マイナビやリクナビで情報収集を行っており、大手企業は掲載されているものの、費用の面から地元の中小企業は難しい。シティセールスと合わせて、行政に支援していただけると良い。

委 員： 新エネルギーについて、柏崎ではガスも産出されているので、電力に限定せず検討してほしい。

事務局： エネルギー全体の活用を検討したいと考えている。

委 員： 地域産業の活性化に関連して、東雲信用金庫のゴルフコンペを柏崎に誘致することに成功

した。100名程度が参加し、柏崎に1泊していただく。これを期に、別の信用金庫に対しても働きかけていきたいと考えているので、市として支援していただけるとありがたい。

会長： 総合戦略の実施方策の一つとして、市には積極的に取り組んでいただきたい。

**<目標別の総合戦略について：子どもを生み育てやすいまちをつくる（P26～27）>**

委員： ワーク・ライフ・バランスは子育てと仕事のバランスだけでなく、幅広い世代を対象に就労環境の改善に向けて働きかけが行われるような記載もあると良い。例えば、中小企業では、有給休暇が取りづらいなどの状況がある。

事務局： 雇用対策にも関係することから、関連する箇所を修正したい。

**<目標別の総合戦略について：地域の活力を担う人材をつくる（P28～29）>**

委員： 現在柏崎に暮らす子どもたちは、地域への愛着を持っていると感じている。その愛着を維持するために、地域での取組を支援していただけるようにしてほしい。

事務局： 地域と子どもたちのつながりや生涯学習という視点で、指摘いただいた内容を反映できるように検討したい。

**<目標別の総合戦略について：定住を促す魅力あるまちをつくる（P30～31）>**

委員： 大学生や若い世代が定住するためには、地域コミュニティとの関わりが重要であると感じている。若い世代と地域コミュニティをつなげるための施策を展開する内容を追加してはどうか。

事務局： 若い世代の定住が総合戦略の一つの命題であり、意見として承る。

委員： 大都市には農業に関心のある人も多い。集落には移住者に対して無料で空き家を譲りたいと考えている人もいる。耕作放棄地が増えており、農地を貸すことも可能である。しかし、集落単位では大都市にPRする手立てがないので、空き家を取り壊される前に市で現況を把握し、情報提供してほしい。空き家対策の推進により、市の活性化にもつながると思われる。

事務局： 今後、空き家の活用にも力を入れようと考えている。

副会長： 他の自治体ではYouTube等を利用して地域をPRしているところもある。世間に柏崎の名前を覚えてもらうために、このような媒体も活用できるのではないか。

委員： 本文中「空き家対策などのIターン対策」という表現を「空き家の提供などによるIターン対策」とした方が良い。

会長： 前回提案した大学の活用が反映されており良かった。

**<重点プロジェクトについて（P32～35）>**

委員： 地域産業の活性化については、もう少し力を入れた方が良いと感じているので、総合計画で引き続き検討してほしい。

**<総合戦略の全体的な構成について>**

委員： 基本的方向と主要施策の組み合わせが一致していないように思える。

事務局： 基本的方向と主要施策の組み立ての整合性を再度検討したい。また、指標との関係及び文言も合わせて確認する。

委員： 各事業の具体的な内容が分からないので、追加で説明資料が必要なのではないか。

事務局： 別途資料編の中で検討する。

委員： 柏崎が若い世代に選んでもらえるようになるため、全体的に表現が修正されており、KPIも再検討いただいたので良かった。

#### <総合戦略の運用について>

委員： 基幹産業の振興や新エネルギーシステムの導入、海を生かしたまちづくり、農業の支援、観光の活性化、大学との協働などは、柏崎の特徴が出ており、活性化に向けて期待感のある取組である。

委員： 主な事業の具体的な内容はどのように検討されるのか。また、事業の進捗の管理はどのように想定しているのか。

事務局： 平成28年度予算の検討において実現性の高いものから予算化し、具体策を検討する。事業の進行管理については、第5次総合計画の検討の中で確認し、必要に応じて見直しを行う。

委員： ターゲットである若い世代に取組が伝わるように、広報にも力を入れてほしい。

委員： 事業を一つ一つ確実に行うことが重要であり、成果について市民に提示してほしい。

市長： 本来は総合計画を策定した上で総合戦略を検討するという流れが望ましかったが、総合戦略の策定が先行してしまい、検討しづらい点があったと感じている。そのため、総合戦略に反映しきれなかったこともあると思われるが、総合計画で生かしていきたいと考えている。総合計画の検討の際に、総合戦略の見直しが必要であれば反映していきたい。

会長： 柏崎市として地方創生を実現していくために、必要に応じて国に対して要望していけると良い。

#### (2) 柏崎市第四次総合計画の進行管理について

質問及び意見なし

#### (3) 柏崎市第五次総合計画の構成、スケジュール及び課題について

質問及び意見なし

### 5 その他

#### (1) 今後の予定

第6回：11月27日（金）午後3時から

第7回：12月1日（火）午後1時から

第8回：1月29日（金）午後3時から

第9回：2月23日（火）午後3時から

第10回（合同会議）：3月28日（月）午後3時から